

9月24日～30日は結核予防週間です

「結核」は昔の病気と思う方が多いようですが、今でも1年間に約1万人以上の新しい患者が発生し、2千人近くの方が亡くなる感染症です。

荒川区の結核罹患率は東京23区で3番目（令和2年）に高く、去年は24人が新たに結核患者として登録されました。

結核ってどんな病気？

結核は、結核菌を吸い込むことで感染しますが、結核に感染しても必ず発病するわけではなく、10人感染したとして発病する人は1～2人と言われています。

結核の症状は気づきにくいいため発見・治療が遅れてしまいやすい病気でもあります。そのため、気づかないうちに重症化してしまったり、集団感染といった事態になってしまう危険があります。

1年に1回は、胸部レントゲン検査を受けましょう。

結核の症状は？

結核の初期症状は風邪に似ており、咳（せき）、痰（たん）、発熱等です。これらの症状が2週間以上続く時は、医療機関を受診して、いつもと違うところを医師に伝えましょう。



結核と闘う
「シール坊や」
(複十字シール運動
キャラクター)

＜問合せ＞荒川区保健所保健予防課感染症予防係

TEL 03 (3802) 3111 内線 430



【感染症発生情報（毎週更新）】 荒川区ホームページ

トップページ→健康・医療・衛生→感染症→[荒川区感染症発生情報（毎週更新）](#)